

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	介護理念の頭文字を社名にしており、毎月のミーティングで理念を全員で読み上げている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のミーティングで理念を全員で読み上げ、全員で確認できるようにしている。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関に掲げて訪問時には確認してもらえるようにしている。 運営推進会議やホームのお便りを発行し連絡を取りご理解いただくようにしている。ホームのお便りを回覧板に入れさせてもらいホームの様子を見ている。	○  引き続き、運営推進会議への参加とホームのお便りを見ていただきご理解いただけるように努める。また、ご家族や地域の方を交えた交流会を行えばと思っている。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	スタッフの出勤時や散歩時などお会いした時には挨拶をしている。 ホームのお便りに介護保険についての相談などお気軽に立ち寄ってもらえるように記載している。	○  今以上にお付き合いが出来るように工夫していきたい。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	回覧板を回したり、スタッフが地域清掃、運動会に参加してしている。 ホームのお便りに介護保険についての相談などお気軽に立ち寄ってもらえるように記載している。 ホームにボランティア募集のポスターを張り出している。	○  ご家族や地域の方を交えた交流会を行えばと思っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	以前はホームの行事に地域の老人会の方に参加していただいた。 現在はこども110番の家に登録している。	○	運営推進会議にて地域の方と相談しボランティアを行ってもらうなど検討して行きたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 ○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を玄関に設置しいつでも見ていただけるようにしている。評価についてミーティング等で伝達している。 年2回自己評価をし、今後の課題を決めている。	○	評価結果をミーティング等で話し合い、改善策を考え対応して行きたい。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回行い、ホームの状況や行事、評価について報告している。参加者にご意見をいただきサービス向上に活かしている。	○	助言を頂いてもうまく活かしきれない場合がある為実行していく。
9 ○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に質問をし、確認をしている。 毎回、運営推進会議にも参加していただき助言を頂く。	○	引き続き、必要に合わせ問い合わせや運営推進会議にも参加していただき助言を頂く。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要に応じて成年後見制度を利用してもらっている入居者がいる。 玄関に成年後見制度のパンフレットを設置し見ていただけるようにしている。	○	勉強会や資料を用意し学んでいけるようにしていきたい。 運営推進会議にて話し合えるようにする。
11 ○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	ミーティング内で必要なことに対し話し合っているが学ぶ機会を作れていない。	○	身体拘束マニュアルを作成しなどし、虐待の範囲など勉強会や資料を用意し学んでいけるようにし防止につなげていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に説明を行い、契約時に疑問点について確認の上契約を結ぶようにしている。解約前にご家族に説明し話合った上で解約をしている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特に機会を設けてはいないが日常的に入居者からの意見を管理者に伝え、対応策を申し送りにて伝達している。	
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	電話やホームのお便りのコメントにて最近の様子を伝達している。金銭管理については毎月、金銭管理帳にレシートを添付し送付している。	○  ご家族に具体的なお知らせできるようなものができるよう検討していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にて苦情受付先について記載し入居前に説明している。苦情受付表を作成し随時受け付けている。アセスメントの最後の「ご家族の願い」の部分に記入していただける場合もある。ミーティングにて対応を検討しご家族にお知らせしている	○  運営推進会議に参加していただけるように働きかけ、直接ご意見をいただけるようにする。
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月各ユニットごと又、全体でミーティングを行い、スタッフの意見を聞く機会を作っている。	○  勤務スタッフも別フロアのスタッフの協力にて参加できるようにしている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	各スタッフの希望休や状況に合わせ出来る限り対応できるように勤務の調整を行っている。スタッフ同士での勤務変更も行えるようにしている。	○  引き続き、スタッフ全員で柔軟に勤務の内容など応えていけるように取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的にフロアごとにスタッフを固定し馴染みのスタッフに対応できるようにしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外の研修を段階に応じて受ける機会がある。法人内の別事業所の勉強会に参加できるようになっている。	○	資格の取得の奨励とそれに向けた情報提供や勉強会への取り組み
20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での別事業所は行っているが当ホームではほとんどない。同法人内の別施設へ行っている。	○	近隣のグループホームも参加できるような行事を行い、お誘いする。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	自己評価時に面談を行い、各スタッフの意見を聞いている。	○	休憩時間は設けているがうまく休憩が出来ていない為検討する。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己評価時に法人独自のを行い、さらに面談を行い、把握できるようにしている。	○	普段の働きかけの中でのアドバイス等を行う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約前に管理者と計画作成担当でご本人と面談を行い、情報を得るようにしている。スタッフに入居者の言動や気づいたことをアセスメントに記入するようにしている。	○  ご本人よりお話しいただける機会を作れるように心掛ける。
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約前に管理者と計画作成担当でご家族と面談を行い、ご本人の情報とともにご家族のご意見をお聞きしている。また、面会時にホームでの様子や入居前の様子をお話をお聞きしている。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談を受けた場合は情報提供をし対応している。	○  地域の他のサービスと連携を図り、利用が出来るような体制を取れるように努める。
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	お試し入居を利用してもらい馴染んで頂ける様にしている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理作りや家庭菜園など一緒に行なっている。その際は感謝や労いの言葉を掛けている。	○  もう少し知恵を頂く気持ちで機会を増やせるようにする。

岐阜県 グループホームはるすのお家ぎふ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事にはお誘いしご本人と一緒に参加してもらえるようにしている。お電話や面会時に近況報告をし体応について相談、助言を頂いている。外泊時にも外泊の連絡や外泊先での様子を伺っている。	○	入居者にとってご家族の協力が不可欠である事を伝え、ご協力を求めている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居前に収集した情報を基に関係を把握し、より良くなるように近況報告を含めお伝えしている。ホームのお便りにてご本人の様子をお伝えしご家族の方に感謝されていることなどをお伝えしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者に合わせ外出先を馴染みの場所の近く場所に設定したり、必要に応じて出かけるようにしている。馴染みの方が営んでいる店舗へ行ける様に支援している。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う入居者で外出できるように計画したり、孤立しがちな方にはスタッフが仲立ちし関わりをもてるようにしている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後の様子を伺う場合もあるがあまり取り組んでいない。契約終了後にも訪問して下さるご家族がいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の業務内のご本人からの情報を記録に残し、毎月1回ケアカンファレンスにてスタッフ全員で把握できるようにしている。	○	可能な限りご本人の行動に制限せず、見守りを中心に対応していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談時の情報をスタッフに伝達し、その後得た情報もケアカンファレンスにて追加し把握できるようにしている。	○	より生活の中での会話など気づきを記録やアセスメントに残していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常の業務内のご本人からの情報を記録に残し、毎月1回ケアカンファレンスにてスタッフ全員で把握できるようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアカンファレンスで確認しあった情報とご家族のご意向を基に介護計画を作成し、ご家族に確認して頂き、必要に応じて変更している。	○	介護計画に対しご家族の意見をもっと聞かせていただけるようにしていく必要がある。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しの際はスタッフにプランに対する評価を行い、ご家族に確認してもらっている。ケアカンファレンスで確認しあった情報とご家族のご意向を基に修正・変更した介護計画を作成し、ご家族に確認して頂いている。	○	ご家族も支えていけるような介護計画の検討。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録用紙に日課表とプラン内容を表記し、内容に応じて文字の色を変えて分かりやすく記入するようにしている。	○	プランに伴った記録の充実。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要に応じて受診・往診、付き添いなど支援している。外出や外泊に対しても対応している。食事に合わせた買い物やご本人の生活暦に合わせ、畑仕事などを行っている。	○	一部分の方向けの支援の為より多くの方にも出来るようにする。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署立会いで避難訓練を行っている。	○	民生委員の方に運営推進会議への参加をお願いしており、これから行なっていきたい。ボランティアも必要に応じ利用していきたい。
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望によりマッサージを訪問で受けてもらっている。	○	必要に応じて対応できるように近隣のケアマネと連携を取るよう努める。
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加していただいている以外は特に行っていない。		



岐阜県 グループホームはるすのお家ぎふ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族や転居先関係者にはアセスメントとケアプランなど必要な情報をお渡しし、その後も連絡いただけるようにしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	心がけているがスタッフによっては十分でない場合もある。ご家族より指摘があり、それについてミーティングにて話し合っている。	○	今以上にミーティング等で意見出し合い全員で意識できるようにしていく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	食事のメニューを決めていただくなど選択できるように努力している。入居者の方が答えを出しやすい質問をするように努めている。	○	スタッフが決める事も少なくない為入居者の方に決めて頂きやすい環境を作る必要がある。
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく入居者の方に合わせるようにしている。スタッフによっては十分でない場合もある。	○	業務を優先になっている事がある為入居者の希望により沿っていけるような取り組みが必要。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご本人とご家族と相談した上で対応させていただいている。 定期的に美容師に訪問してもらい行っている。 馴染みの美容室にご本人の希望時に対応している。		

岐阜県 グループホームはるすのお家ぎふ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューを相談したり、食事作りに参加してもらっている。一品でも入居者の好みのものをメニューに入れられるようにしている。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	水分補給時は飲みたいものをお聞きし用意するようになっている。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	定期的なトイレ誘導を行っている。	○	排泄間隔や誘導について適切なタイミングやスムーズな排泄パターンをしていけるようにしていきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間などホームの都合に合わせてもらっている。入る順番などはなるべく入居者の方の希望に応えられるようにしている。	○	お好きな時間に入浴できるような取り組みを考えていきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居前の生活に合わせて布団を床に敷いて寝てもらうなど環境づくりをしている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一部の入居者に対しては行えているがあまり行えていない。	○	今の楽しみを見つけ出していき、ご本人の気力を引き出せる様に取り組んでいきたい。

岐阜県 グループホームはるすのお家ぎふ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の入居者に対しては所持していただいている。基本的にお預かりし出納帳をつけ、管理している。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望によって外出しているが機会が少なくなりがちである。また、外出する方に偏りが出来てしまう。	○	機会が少なくなっている為外出にいけるように取り組んでいきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に合わせた場所に外出している。その際はご家族に合意を頂くとともにお誘いをしている。	○	機会を多く持てるように取り組んでいきたい。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	スタッフが取り次いでお電話をされる。お手紙のやり取りはごく稀に希望に合わせて行っている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時にはまたお越しいただけるようにお話をさせていただいている。ホームのお便りのお越しいただけるようにコメントを書かせていただいている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に拘束しないようにしている。	○	入居者の言動の原因について考え、気持ちが理解できるように取り組んでいきたい。知らずうちに行っている場合もあり、身体拘束マニュアルを作成し勉強していきたい。

岐阜県 グループホームはるすのお家ぎふ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的かけてはいないがやむ終えずスタッフが対応できない場合においてのみ安全上、かける場合がある。かける場合は時間を短くするように努力し早めの開錠するようにしている。	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者の所在を確認し、定期的に巡視するように心がけているが出来ていない場合もある。	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の方に合わせてご家族に説明しお預かりさせていただいている。	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	対応マニュアルがあり、部分的に学んでいるが十分でない。入居者に合わせた対応も行うように努力しているが十分に行えない場合がある。	○ 勉強会や資料を用意し学んでいけるようにしていきたい。 また、マニュアルをミーティングにて確認する。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	対応マニュアルは作成しいつでも確認できるようにしているが訓練は行っていない。	○ 定期的に訓練ができるように取り組んでいきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署立会いの下避難訓練をし運営推進会議にて報告し、協力をお願いしている。	○ 避難訓練のほかにもスタッフの伝達の訓練等も行っていきたい。

岐阜県 グループホームはるすのお家ぎふ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時、必要時に説明をし、相談をした上で対応を考えている。	○	変化に応じてご家族に説明し理解していただくようにしていただく。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝・夕・入浴前・体調の変化に気づいた場合にはバイタル測定し、申し送り、記録に残して他のスタッフにも確認できるようにしている。	○	対応に時間がかかる場合があり速やかに対応できる環境づくりをしていきたい。
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	出来ている物もいるがスタッフにより差がある。薬のセット・確認・服薬を勤務ごとに担当を設け、確認し認識できるようにしている。		
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維を多く含むものの一覧をキッチンに掲示し食事作りに役立てている。運動も行ってもらっている。スタッフにより出来ない場合もある。	○	食材のみでなくメニューについても掲示し役立つ事ができるようにしていく。
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後に行っている。	○	ご家族に相談し歯科医の検診
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録につけ、摂取してもらっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	入居者の方には定期的に検診を受けてもらい確認している。 予防接種もご家族の同意の上必ず接種している。 視や法人内の通達を掲示しスタッフに認識してもらい対応している。 消毒液で手すりなどの消毒を行っている。	○	感染予防マニュアルはあるが定期的に確認していく。
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	料理用具は食器乾燥機にて加熱している。食材は週2回の買出しの日までに使い切るようにし痛まないようにしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節によって玄関や裏口のドアを開放し玄関の中が見えていただけるようにしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日差しはカーテン等で緩やかにしている。玄関や廊下に季節の花や飾り付けをしている。 トイレは車椅子の方が使用することもありスペースも無い為カーテンでの仕切りしかない。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で自分の時間を過ごしてもらえるように声がけや誘導をしている。畳やソファ等居場所がある。		

岐阜県 グループホームはるすのお家ぎふ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	タンスやテーブル等自宅より持ってきて頂き居室 に設置している。		
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	午前・午後と換気を行い、冷暖房にて調整してい る。温・湿度計で確認し加湿に努めている。		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	共用空間に手すりを設置しており、移動や移乗を 自力で出来るようにしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	食事作りなどできる事を声を掛けながら一緒に行 なう。 分かりやすい表現を考え伝えるようにしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	建物の横の庭で野菜を入居者の方と育てている。 玄関周り等で花を育て飾っている。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホームはるすのお家ぎふ

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

勤務年数の長い職員が多く入居者の状況を把握している。家庭的な環境で生活していただいている。